



希望の鐘 The Bell of Hope

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-04

10月号

発行 2025年 10月 16日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)

会計 吉田 公代

主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』

スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』

書記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: 田上 正 (熊本むさしクラブ)

主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』

スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』

東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)

主題『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”

スローガン Change !

10月の聖句

コヘレトの言葉 15章 13節

わたしは知った、すべて神の業は永遠に不変であり、
付け加えることも、除くことも許されない、と。神は人間
が神を畏れ敬うように定められた。

I know that whatever God does,
It shall be forever,
Nothing shall be added to it,
And nothing taken from it,
God does *it*, that men should fear before Him.
(Ecclesiastes 3:14)

8月統計(9月27日)

出席者 7名 出席率 70%

(プラス 五十嵐政二・かほる夫妻)

川越クラブ 9月例会報告

日時: 2025年 9月 27日(土) 14:00~16:00

会場: 川越 YMCA

会長 利根川太郎

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、今年の「暑さ」は35度超えの猛暑日をいうようです。さすがに猛暑日はなくなりましたが、30度に迫る日がまだまだありそうです。猛暑の疲れが出てくる頃です。皆様体調にくれぐれもご留意ください。

では、9月27日の例会の報告をいたします。

9月例会は、川越クラブが設立当初から取り組んでいる「チャリティ『川越いも』」の販売品種を検討するための試食会を行いました。

このチャリティは、川越ワイズメンズクラブ初代会長の故・工藤徹さんが「チャリティ『川越いも紅あか金時』」として始められたものです。「紅あか金時」という品種は、美しい鮮やかな皮の色と優れた食味から「さつまいもの女王」とも呼ばれ、大正から昭和初期にかけて「川越いも」の名で関東一帯で栽培が盛んになりました。

近年は、収量が少なく栽培が難しい性質から作付けが減少して「幻のサツマイモ」と呼ばれることもあります。

川越ワイズメンズクラブでは、高橋農園のご協力で長年「紅あか金時」の予約販売をチャリティとして行ってきましたが、販売数に限りがあるため、昨年から近年人気の紅はるかシルクスイートを加えて、「チャリティ『川越いも』」として、装いも新たにチャリティ販売を行うことにしました。

チャリティの収益金は、埼玉YMCA川越センターの放課後等デイサービス・クローバークラブなどの社会事業の支援に充てられます。今年もぜひ皆様のご協力をお願い申し上げます。

皆さんで美味しくお芋の試食をした後は、10月例会の計画を話し合いました。次回の10月25日(土)例会は、ルーマニアについて、さいたま市のALTの方から卓話を頂きます。卓話者の了解をいただきましたので、ここで皆様にも広報いたします。

また、11月以降の川越クラブ例会についても検討しました。その中で、例年3月の春休み中に実施している、クローバークラスやアップの生徒さんたちとのバス旅行の行く先を検討しました。原案としては群馬サファリパークとこんにゃくパークを第一候補とします。費用概算を調査して、今後決定していきたいと考えています。

9月例会には五十嵐ご夫妻も参加いただいて、楽しい例会となりました。次回10月もよろしくお願いいたします。



10月例会予告

日時:10月25日(土)

場所:YMCA川越センター

リレー随想

【ボランティアの秋、ハロウィンの風景】

河合 今日子

朝晩すっかり涼しくなり、秋の深まりを感じる季節となりました。10月になると、私の住む地域では、毎年恒例のハロウィンイベントが開催されます。100人近い子どもたちが地図を片手に、地域の家々を巡ります。「トリック・オア・トリート！」と元気に声をかけると、お菓子をもらえるのです。このイベントは、実に多くのボランティアの力で成り立っています。

お菓子を提供してくださる方、それを渡すために家で待っていてくださる方。子どもたちの安全を見守るため、道端に立ってくださる方。仮装して子どもたちを楽しませてくださる方。100人近い参加者の受付を担当する方。そして、全体を企画・運営し、広報して下さる方々。実は私も、その中の一人です。ボランティアの顔ぶれは実に様々。若い学生さんからパパさん・ママさん、おじいちゃんやおばあちゃんまで、自分の得意なことや、できることを活かしながら、子どもたちの活動を支えてくださっています。

こんなふうに、地域全体で子どもたちを見守り、育てて

いく仕組みがあることに、私はいつも温かい気持ちになります。人と人のつながりが薄くなったと言われる時代ですが、このような地域の力が今も息づいていることを、誇りに思います。子どもたちはこの日を毎年心待ちにしています。「今年はどんな仮装にしようかな?」「誰と回ろうかな?」とワクワクが止まりません。

近年では、コロナ禍の影響もあり、人と話すことやあいさつが苦手な子も増えているように感じます。でも、ハロウィンの日ばかりはそうはいきません。「トリック・オア・トリート！」と元気に声を出さないと、お菓子はもらえないのです。それが、子どもたちにとっても良い練習になっているのかもしれない。たった一言のあいさつから、また新しいつながりが生まれていく・・・。

そんな秋の1日に、毎年心がほっこりしています。今年も、温かな光景がまちに広がるのを今から楽しみにしています。



国際の舞台から

地域開発基金 (Area Development Fund)

利根川 恵子

地域開発基金(ADF)は、新しい地域へのエクステンション、会員維持、青少年育成、リーダーシップ開発および地域を強化する他の活動を支援するための資金の提供を目的としています。同基金の収入は、会員の自発的な寄付と地域の年間の経常会計余剰金の50%の移転を含む、地域議会によって承認された寄付から得られるものです。地域開発基金委員会(ディビッド・ルア元地域会長が委員長)が基金の管理、運営を行っています。

主な使途として、アジア太平洋地域ユースコンボケーション参加者への補助があります。今年度も熊本で8月に開催されたアジア太平洋地域ユースコンボケーションの参加者全員に一人100米ドルの補助金がこの基金から支出されました。

アジア太平洋地域の発展のために、有効に活用したい基金です。



アジア太平洋地域大会でユースコンボケーションの報告を行う参加者(2025年8月3日、熊本ホテル日航にて)

URL :

<https://forms.gle/R4sBZKj3AaYjYeGEA>

編集後記

今月も皆さんの協力で川越クラブのブリテン「希望の鐘」が発行できることを嬉しく思います。

急に涼しくなり、私は慌ててセーターを羽織りました。日本はこのように四季があることで文化が発展・維持されていると思います。私用で、みなかみで同級生が経営する民宿を予約しようとしたら、紅葉のシーズンのため、週日なのに満室でした。嬉しいやら、悲しいやら、複雑な気持ちになりました。

埼玉 YMCA としては、11 月 3 日は恒例のチャリティーラン、11 月 23 日は所沢で YMCA フェスティバルです。皆さん参加しましょう。

川越 YMCA は職員が産休に入り、更に人手不足が深刻です。引き続きサポートをお願いします。

日本 YMCA 同盟(四谷)の総主事が来年 4 月から現在の、田口 努氏に代わって、現 MCA せとうち総主事太田直宏氏が就任することになりましたのでお知らせします。(KY)

YMCA 報告

【YMCA 報告】

河合 今日子

9 月 28 日、子育て子育てセンターにて、不登校や生きづらさを抱えた子どもたちを対象に、「あそびの場(ボードゲーム)」と「保護者交流会(保護者カフェ)」を開催しました。

「あそびの場(ボードゲーム)」では、ボードゲームマスターの塔筋さんをお招きし、簡単で誰でも楽しめるボードゲームを多数用意していただきました。最初は緊張していた子どもたちも、ゲームを通して徐々に打ち解け、笑顔で過ごす様子が見られました。学校や家庭以外で安心して過ごせる場所として、子どもたちが他者と関わる貴重な体験の場となりました。

「保護者交流会(保護者カフェ)」では、川越不登校親の会と連携し、同じ悩みを抱える保護者同士がゆったりと語り合える時間を設けました。子どもたちのいきいきとした様子を見ることで安心感につながり、将来への不安を抱える中でも、保護者同士のつながりが孤立感の軽減に役立ったとの声も聞かれました。

当日は、子ども 16 名、大人 8 名が参加し、「次は川越で開催してほしい」といった要望も寄せられました。今回は助成金を活用して実施しましたが、今後も定期的開催できるよう、継続的な支援を呼びかけていきたいと考えています。

【第 26 回インターナショナルチャリティーラン参加者募集】

今年度も 11 月 3 日(月・祝)航空公園にて、チャリティーランが開催されます。

自分のペースで楽しく参加できます。ご参加お待ちしております。以下の URL からお申込みください。